

初日の出

みずき  
啓

初日の出人のかたちを濃くしたる

エイエイと腹に声かけ初出勤

来ぬ年もあり流氷と長男と

炬燵でて骨というものの啼かす男

雪降れば遊びをせんと犬の鼻

盃をふくむ心の風花へ

口ばかり働いている掘り炬燵

蜜柑むく胸に言葉ひとつをあたたためて

雪の日は初恋をだき眠りましょう

元朝の戦に続く空である